Global Awareness: Exploring Culture and Society Group 1

外国人教員による特別プログラム

実施日: 平成29年10月11日, 10月25日, 11月1日, 11月15日

実施場所: 群馬大学荒牧キャンパス GB201教室、GC216教室 講師:大学教育・学生支援機構大学教育センター Barry Keith先生/Raymond Hoogenboom先生



~活動について~

Global Awareness Group1では4回の活動を通して2回のPechaKuchaの発 表を行った。

~PechaKuchaとは~

PechaKuchaとはプレゼンテーションの形式であり講演者は、20枚のスラ イドを1枚あたり20秒使ってプレゼンテーションを行う。(本プログラムで は10枚のスライドを各20秒で行った)

また、PechaKuchaは画像をメインとしたスライドなので視覚的にわかりや すく、20秒で次のスライドに移行するので発表の場では画像を見ながら 臨機応変に話す内容を考えるという機転が必要となってくる。

~発表の評価について~

評価は、20人がそれぞれA~Eの4人5チームに分けられて、発表者 は同じチームの人によって、以下の8つの観点でそれぞれ☆、☆☆、 ☆☆☆の三段階で評価され、その評価シートを発表者に渡すとい う形で行われた。その際、評価シートの最後にアドバイスなど一言 を添えてシートを渡すことで発表者が次に活かせるような評価をお こなった。

- The speaker's voice was loud and clear. (声は大きいか)
- The speaker had good eye contact with audience. (アイコンタクトはできているか)
- The speaker used gestures well. (ジェスチャーをしているか)
- The visuals were interesting and attractive. (興味深く魅力的なヴィジュアルか)
- The speaker 'told the story'(not memorized) (話を暗記せずに話せているか)
- The speaker spoke smoothly (few erms, ahs.etto's) (スムーズに話せているか)
- The speaker was passonate about the topic. (トピックに情熱を持っているか)
- Overall rating of the PechaKucha. (総合評価)

<表1評価項目>

内容

~活動内容~

第1回(10月11日)

大学教育・学生支援機構大学教育センターBarry Keith先生、 Raymond Hoogenboom先生によるPechaKuchaの説明及びデ モンストレーション(図1)、先生とgroup1のメンバーの自己紹 介(図2)、第2回に行われるPechaKuchaの発表のテーマ発表 と準備が行われた。自己紹介ではそれぞれ名前、所属、出身 地域、趣味などを英語で紹介した。

第2回(10月25日)

第1回で決めたテーマについてPechaKuchaの発表が行われた (図3-4)。発表テーマはそれぞれ、高校時代のこと、自分の出 身地、趣味、好きな歌手など自身にとって身近なことをテーマ とし、それを紹介する形で発表された。スライドがうまく動かな かったり、発表が思うようにいかなかったりなどの改善点が見 つかる発表であったがそれぞれが評価シートを受取り次回の Pechakuchaに活かせるような体験となった。

第3回(11月1日)

第4回に行われるPechakuchaの発表の発表テーマの説明が なされ、それに向けて個人のテーマの決定と準備が行われた。 そこで先生方から海外ニュースが閲覧できるサイトなどの紹 介もされた。

第4回(11月15日)

2回目となるPechaKuchaの発表が行われた。前回の発表の経 験を活かし、国際的な文化、出来事、国際問題について発表 を行った。テーマの例としては、大気汚染や竹島、尖閣諸島、 朝鮮戦争、絶滅危惧動物、自然、スマホ依存など身近なテー マから普段はあまり意識しない問題などさまざまであった。発 表終了後にはGlobal Awarenessは最後であったが、Keith先生 とHoogenboom先生からそれぞれ将来、プレゼンテーションを 行う際に活かせるようなアドバイスもいただけた。





く図1 デモンストレーション>

<図2 授業風景>





〈図3,4発表風景〉

~まとめ・成果~

PechaKuchaを通して、自分の意見をまとめて発表すること、国際的な問 題などに目を向け考えることなどの学習ができた。また英語でのプレゼ ンテーションということで慣れないことばかりであったが、お互いに評価 をしあったり、Keith先生やHoogenboom先生からアドバイスを頂け、1 回目の発表より2回目、そして2回目より次へとつながっていく学習に なった。ほとんどの学生はネイティブスピーカーでなく、英語で行うプレ ゼンテーションは初めてだという人も多かったので、今回のGlobal Awarenessで、自分自身の英語カやプレゼンカ、臨機応変に対応する 力など様々な力を身に着けると同時に、自分の課題を把握する機会と なった。

~最後に~

今回のGlobal Awarenessのためにお時間を作っていただき、ひと りひとりに的確なアドバイス、ご指導をしてくださり、Global Awarenessを織り上げてくださったKeith先生、Hoogenboom先生、 活動前に出席カードや評価シート、プレゼンテーション用のPCや プロジェクタなどの用意や活動の様子を記録してくださった關口 さん、出席カードの確認をしてくださった河端さん、GFLの活動を 支えてくださっているすべての方々に感謝の意を表します。